

フランス保健スポーツ省

## 国際研究「INTERPHONE」の結果に関するプレスリリース

[2010年5月18日]

携帯電話の使用と脳腫瘍（神経膠腫および髄膜腫）の発症との関連性に関する国際研究「INTERPHONE（INTERPHONE）」の結果が国際疫学ジャーナルに発表された。何カ月も待ち望まれた研究成果がついに発表され、閣僚は喜んでいる[2010年5月18日]。

「INTERPHONE」研究には13カ国の16の研究センターが参加している。この研究では、10年以上の携帯電話使用者を含めた、大規模な症例対照研究の手法が用いられた。

研究結果：

- ・1年以上の携帯電話日常的使用者の脳腫瘍のリスクは、非使用者よりもわずかに低かったが、この結果はおそらく研究のバイアスのせいであろう。
- ・携帯電話使用開始から10年以上の使用者では、脳腫瘍のリスクは上昇していない。
- ・携帯電話のヘビーユーザーでは、神経膠腫のリスクが上昇している。ただし、このグループの神経膠腫発症者の一部は常軌を逸しているとも言える使用（10年以上1日12時間）を報告しているため、この結果の解釈には慎重を要する。

今回の研究結果では、携帯電話の使用と関連したリスク上昇は明らかになっていない。したがって、研究結果は、この問題に関する国内外の専門家の評価に一致している。

研究のデータは、携帯電話が現在程使用されていない時代に収集されたものであるため、国内レベルでも国際レベルでも、この分野の研究と評価を継続してゆくべきである。政府も、フランス環境労働衛生安全庁に無線周波数健康財団の組織を常設し、この分野の研究に年間約200万ユーロの予算を与える決定をした。

補足的な研究がないため、ヘビーユーザーに関するデータから、引き続き、携帯電話の次のような使用が勧告されている：

- ・ヘッドセットを優先的に使用する。
- ・通信時間を制限する。
- ・一時的な出力増大を避けるため、移動しながらの使用を避ける。

上記の勧告は、オンラインで入手できる次の資料で詳しく述べられている：

情報パンフレット「携帯電話、健康と安全」

プレスコンタクト：ロズリーヌ・バシュロ＝ナルカンのプレスサービス：  
01 40 56 40 14

ナタリー・コシュースコ＝モリゼのプレスサービス：01 42 75 56 54

ジャンタル・ジョアノのプレスサービス：01 40 81 79 55

【 翻訳：電磁界情報センター，2010/06/08 】